

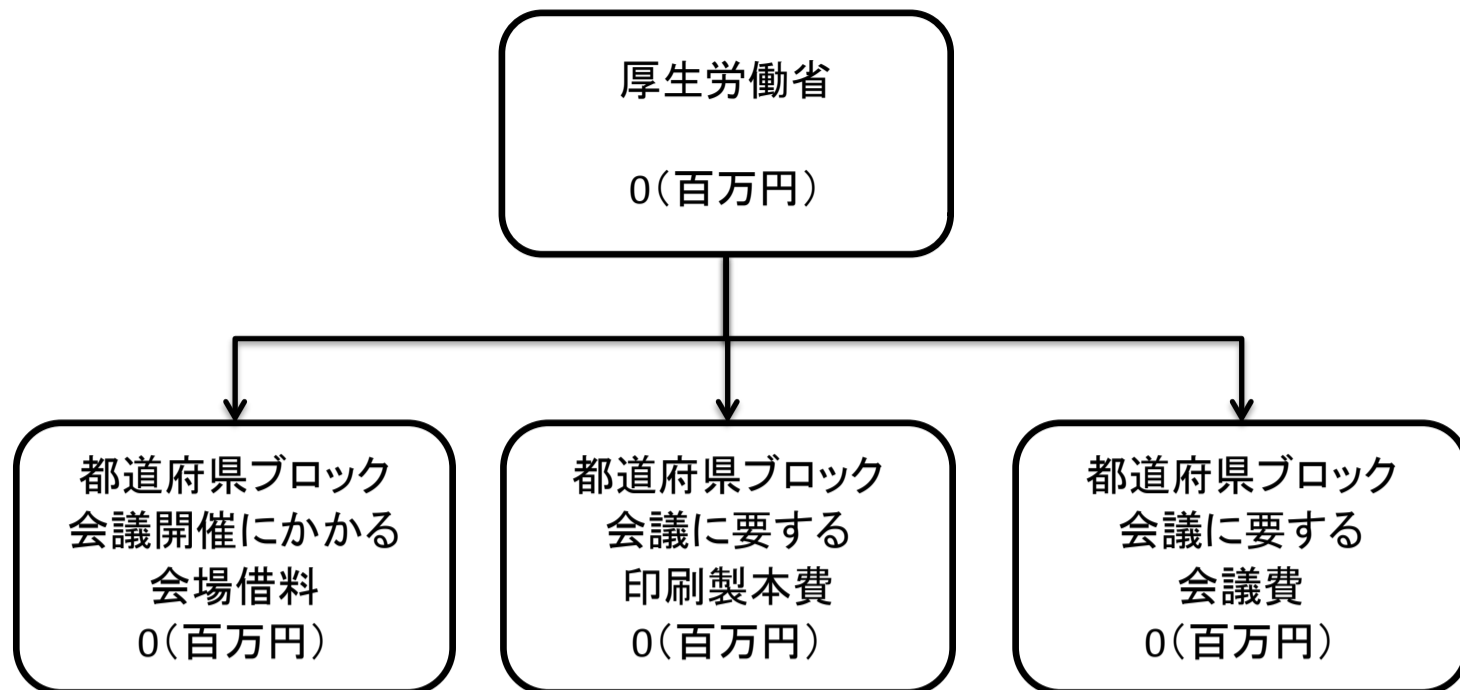
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	後期高齢者医療企画指導費		担当部局庁	保険局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	高齢者医療課		横幕 章人	
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	後期高齢者医療制度の円滑かつ適正な運営を図るため、後期高齢者医療制度に関わる都道府県及び後期高齢者医療広域連合への指導等を行う都道府県ブロック会議を開催する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○都道府県ブロック会議を全国6ブロック(宮城、愛知、大阪、広島、福岡、東京)で開催。 ○各都道府県の後期高齢者医療主管課(部)、後期高齢者医療広域連合より出席いただき、各地の厚生局会議室、都道府県庁舎会議室等にて開催。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	1.4	1.8	2.2	3.2	3.0
		補正予算					
		繰越し等					
	計	1.4	1.8	2.2	3.2	3.0	
	執行額	-	0.3	0.3			
執行率(%)	-	17	14				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	ブロック会議開催地区数	成果実績	地区	12月:6	4月:6 1月:6	4月:6 9月:6	-
		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	都道府県ブロック会議の開催回数	活動実績 (当初見込み)	開催回数	6	12	12	-
					-	(12)	(12)
単位当たりコスト	150(千円/6地区)		算出根拠	会議1回の開催に要した費用 (執行額/会議開催回数) なお、会議開催にあたっては職員旅費、委員等旅費のみ支出。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	1.6	1.6	今後も事務担当者からの意見集約を行う必要があるため、平成24年度についても平成23年度と同程度を予算要求する。			
	会場借料	0.4	0.2				
	印刷製本費	1.2	1.2				
計	3.2	3.0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当初は会場を借り上げ、会議を開催する予定であったが、各地の県庁舎等を借りることができたため、借り上げ費用が発生せず、不用率が高くなっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	各地の県庁舎や省内会議室の活用により、開催費用の抑制に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	/
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成20年度から創設された制度であるため、初年度は制度の運営方法についての説明・質疑、平成21、22年度は財政運営上の特例（保険料増加抑制）及び新たな高齢者医療制度の検討状況等に関する説明を実施してきた。</p> <p>後期高齢者医療制度の運営に携わる都道府県、広域連合の担当者から広く直接意見集約をする場であり、制度を安定運営するためにも毎年定例的に実施することが必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>事業の必要性は認められるが、政策効果等を検証し縮減すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>政策効果等を検証し縮減（反映額：▲0.2百万円）</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

後期高齢者医療企画指導費のフロー



[平成22年度において執行無し]

※当初は会場を借り、使用する予定であったが、各地の県庁舎等を借りることができたため、予算執行は行わなかった。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

※うち事務費0.3百万円

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0